

令和4年度 第1回 印西市立図書館協議会会議録 要旨

- 1 開催日時 令和4年7月7日(木) 午前10時00分から午前11時45分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席委員 磯 委員、竹原委員、永田委員、武井委員、黒澤委員、石ヶ谷委員
倉沢委員、関口委員、石渡委員、栗山委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 大木教育長、鈴木生涯学習課長、秋谷大森図書館長、
伊藤大森図書館副館長、石井小林図書館分館長、
富田そうふけ図書館分館長、菅澤印旛図書館分館長、
佐々木本埜図書館分館長、齊藤主査、阿久津主査、吉野主査、
酒井主任主事
- 6 傍聴者 8名
- 7 会議内容 議事
 - (1) 令和3年度図書館事業報告について
 - (2) 令和4年度図書館事業計画(案)について
 - (3) その他報告
 - (1) 第4期印西市立図書館サービス評価指標について
 - (2) その他

会議要旨(要点筆記)

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音機材の設置の了解】

【教育長あいさつ】

【委員自己紹介】

【事務局自己紹介】

【委員長及び副委員長選任】

〈進行〉 委員長及び副委員長の選任をお願いいたします。

選出にあたりましては、印西市立図書館設置条例施行規則第20条第2項の規定により、委員の互選によるとなっております、いかがいたしましょうか。

どなたか、ご推薦をいただけますでしょうか。

〈委員〉 事務局から案を示していただき、それにより選出をしてはいかがでしょうか。

(挙手で賛成の意)

〈進行〉 それでは、事務局案としまして、委員長に倉沢委員、副委員長に黒澤委員を推薦いたします。
よろしく、ご審議を賜りますようお願いいたします。

(挙手で賛成の意)

〈進行〉 委員長に倉沢委員、副委員長に黒澤委員が選出されました。

【委員長あいさつ】

【図書館概要説明】

図書館概要説明

〈進行〉 それでは、議事に入らせていただきたいと思います。
議事進行につきましては、印西市立図書館設置条例施行規則第21条第1項の規定により、委員長が議長となることとされておりますので、倉沢委員に議長をお願いいたします。

〈議長〉 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
会議の円滑な進行にご協力をお願いします。

【会議録署名委員の指名】

〈議長〉 はじめに、本日の会議録署名委員の指名を行います。
名簿順にお願いしておりますので、今回は磯委員を指名させていただきます。

【議題】

議題（１） 令和３年度 図書館事業報告について

〈議長〉 それでは、議事に入りたいと思います。「令和３年度図書館事業報告」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉 （令和３年度図書館事業報告について説明）

〈議長〉 事務局より説明がありましたが、この内容に関しまして質疑等がございましたらお願いします。

〈委員〉 昨年度の年報をみなさんにお配りしたら、わかりやすいのではないのでしょうか。よろしくお願いします。

- 〈事務局〉 後ほどみなさんにお配りします。
- 〈委 員〉 別紙２の図書館組織図の中での司書の方が何名いるか教えていただきたい。
- 〈事務局〉 ８名です。
- 〈委 員〉 組織図の中に司書の方がわかるように、表示をお願いしたい。
- （事務局） わかりました。
- 〈委 員〉 子ども向けのイベントですが、定員に対して申し込み人数が多数あった場合、どのような形をとっているのか教えていただきたい。
- 〈事務局〉 昨年度については、コロナウイルスの影響により、定員をオーバーする申し込みが少なかった。申し込みが多数見込まれる場合は、整理券をお配りして、なくなり次第、終了とさせていただいている。
- 〈委 員〉 毎年、同じお子さんが参加する場合があるのか。私としては、幅広く受けられるようお願いしたい。どのような対応をしているのか教えていただきたい。
- 〈事務局〉 図書館探検隊では、過去、前年度に参加されたお子さんの記録は把握しておりません。学年の縛りがあるので、毎年同じお子さんが来るとは限らない。基本的には、先着順で受付をしており、早く電話をいただいた方から受付をしている。
- 〈委 員〉 できるだけ幅広くいろいろな方に体験していただきたいので、一言添えていただくなど可能かと思ひまして、改善をしてほしい。
- 〈事務局〉 どういう形で対応できるか検討させていただく。
- 〈議 長〉 他にご意見がないようですので、議題（１）「令和３年度図書館事業報告について」は、ご了承いただくことでよろしいでしょうか。

(挙手で賛成の意)

〈議 長〉 「令和3年度図書館事業報告について」は、了承されました。

議題（2） 令和4年度図書館事業計画（案）について

〈議 長〉 次に「令和4年度図書館事業計画（案）について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉 （令和4年度図書館事業計画（案）【資料2】に基づき説明）

〈議 長〉 只今、事務局から説明がありましたが、この内容に関しまして質疑がございましたら、お願いします。

〈委 員〉 こども向けのイベントや事業が多いので、力を入れていると感じた。普段、図書館に足を運ばない大人やシニアなどを対象とした事業を企画できないか。例えば講演会とか、わくわくするような企画もあったらいいと思うが、そのようなことは、考えているか。

〈事務局〉 成人向けの事業が少ないというご意見は、去年の協議会の中でも伺っているが、反映できていない状況である。今後、各館の事業などで、できる限り対応していきたいと考えている。

〈委 員〉 同じような意見になってしまうが、だいぶ前に中学生、高校生のイベントが少ない、大人向けのイベントを増やしてほしいと言った記憶があるが、図書館側ではどのようなお話し合いをしているのか、教えてほしい。

〈事務局〉 基本的に事業に関しては、各館の状況により検討しているところである。ここ数年間はコロナの影響もあり、イベント等が減少傾向にある。私共も中学生、高校生の利用が少ないのは、認識しているが、具体的にどういう事業を行えば来ていただけるのか検討していきたい。

〈委 員〉 としょかんつうしんの中で、SDGsの紹介があるが、2冊だけでは、紙面がもったいない、他にもたくさんあるので紹介してほしい。例えば、子どもの図鑑などは、たくさんあるので、20冊ぐらい置いて、としょかんつうしんをもって各館をめぐるといったようなチラシに

してほしい。

あと、小学生、中学生の絵本のブックリストの本の冊数が少ないと感じている。

〈事務局〉 としょかんつうしんについては、環境月間展示ということで、毎年各館順番でテーマを決めて事業の紹介をしている。環境月間展示に関しては、ブックリストなど、図書館ホームページで紹介しているので、参考にしていきたい。

〈委 員〉 今、事業報告と事業計画を伺ったが、昨年度の利用状況はどうであったか、貸出、返却とか利用者の動向など、少なかったら今後どうしていくのか、資料が少ないと思っている。来年度は、改善していきたい。事業は利用を促すための事業なので、もう少し報告すべきことがあるのではないかな。

〈事務局〉 この後、貸出件数などについて、サービス評価指標のところで、説明いたします。利用者の動向などについては、今後、資料に追加したい。

〈議 長〉 事業計画（案）の根拠や計画につながる道筋など、よろしくご検討いただきたい。他に何かありますか。

〈委 員〉 以前、中学生、高校生向けのイベントが行われていたと思うが、復活するのか。印西市は、小学生までは本とのかかわりが強いが、中学生になったとたんあまり足を運ばなくなるので、中学生、高校生向けのイベントをきっかけに、図書館に来てほしいという内容があった方がよいと思う。よろしく願いしたい。

〈事務局〉 先ほどと同じ回答になるが、中学生、高校生向けのイベントも行った方がよいと思うので、検討させていただきたい。

〈議 長〉 最近の中学生の動向について、磯委員から何かありますか。

〈委 員〉 学校図書館は、朝読などを行っていて本に触れ合う機会が多く、また、新しい本もコーナーなどを作って取り揃えている。まずは、学校図書館に足を運ぶので、順位的には、地域の図書館へ行く順

位は下方になるが、朝読をしているので、本を読まなくなることはないと感じている。

〈議 長〉 そういう情報が得られると図書館と学校図書館との協働というところで、風通しが良くなるのではないか。

〈委 員〉 学校としては、本を読んでもらうために、授業中に帯を書かせたり、そういう取り組みも行っているので、その辺で連携できれば、中学生、高校生に対するイベントもできると思う。実際に中学校で実施しているので、うまく連携できればと考えている。

〈議 長〉 他にご意見ございますか。それでは、議題2についてご意見がないようなので、議題2「令和4年度図書館事業計画について」はご了承いただくという事でよろしいでしょうか。挙手をお願いします。

(挙手で賛成の意)

(議 長) 議題2「令和4年度図書館事業計画について」は了承されました。ありがとうございました。
次に議題③「その他について、事務局より何か議題にすることはありますか。」

〈事務局〉 ありません。

(議 長) それでは、委員の中で議題にされたいことは、何かありますか。

〈委 員〉 図書館サービス計画策定についてと印西市公共施設適正配置アクションプランは、どこの部分で説明していただけるのか。

〈事務局〉 報告の② その他の中で報告する。

〈委 員〉 公共施設適正配置アクションプランを報告ではなく、議事の中にのせていただきたい。ここで発言させていただいてよろしいか。

(議 長) みなさんよろしいでしょうか。

異議なしの声あり

〈議 長〉 それではお願いします。

〈委 員〉

公共施設適正配置アクションプランを拝見させていただいて、改修工事が済んだら順次、指定管理者制度を導入するという記述があり考えました。

結論から申し上げます、いろいろ財政事情もありますし、事業報告を見ても膠着化している。6館に司書の方が、8人散らばっていて、まとまって話し合う機会もないし、資料収集もある、事業もある、予算のこともあると大変厳しい状況ではないかと思っている。後々、指定管理も導入するという計画もあり、印西市の財政事情もあるので、指定管理制度の導入はやむを得ないかなと思っているが、結論から言えば6館全部に導入するのではなく、1館でもいいので直営館を残していただきたい。私は船橋市の図書館で、指定管理者の業者選定、導入から点検評価まで携わっているが、船橋市の指定管理者は非常に良くやっている。船橋市は人口64万人ですけれど、市内に4館図書館がありまして、その内、西船橋にある西図書館1館を直営にして、他の3館については、同じ指定管理者で6年目、2期目になります。船橋市の指定管理者は、多彩な事業と資料収集など市民からも接客態度が良いなど好評を得ています。毎年、視察に行くが、非常にいい状態で運営している。

理由について説明させていただくと、船橋市は、図書館サービス推進計画や指定管理を導入する際の仕様書がしっかりできている。毎年、契約が善良に履行されているかどうか点検評価を行っている。点検評価は、指定管理者による自己評価と西図書館の所管課評価のほか、大学の先生や税理士などによる第三者評価を行っている。何より直営館である西図書館が大変しっかりしている。もう一つ図書館で一番大事なものは、図書購入費だと思う。図書購入費を指定管理料に含まないで、西図書館が直接持っていて、市が管理している。そういうところが、ポイントになって大変うまく運営している。是非、船橋市の図書館を一度視察に行っただけだったらうれしいと思う。どうぞよろしくをお願いしたい。

印西市の場合も6館すべて指定管理と言わずに、できれば1館でも2館でも直営にして、職員や司書を集めて、組織力を上げて企画とか連絡調整機能を持たせてもらいたいと考えている。

- 〈事務局〉 (図書館サービス計画策定に向けて及び公共施設適正配置アクションプランについて、説明)
- 〈委 員〉 アクションプランを見ますと 2023 年から 2026 年に大森図書館と小倉台図書館に指定管理者制度を導入とあるが、来年度以降に予算が動くとかはあるのか。
- 〈事務局〉 現在は、指定管理者制度導入の調査・研究を始めているところですので、みなさまにお話をして意見を聞いてからになります。予算も持っているということはございません。
- 〈委 員〉 大森図書館は、6 館の内の中心的な役割のある図書館であるので、まず民間に出してしまうのかという心配と小倉台図書館は、相当の市民の方の思い入れと県立図書館の館長さんも力を入れていた単独館である図書館で、まず、この二つの図書館を出してしまうのか。大森と小倉台を先に民間にというのは、すごく良い図書館で市民の利用も多いので、じっくり考えて頂きたい。やはり司書が 8 人で、何十年も司書を採用なさってないと思うので、ただ、一つの市に 6 館あるというのは、運営上非常に大変なことだと思う。人も散っているし、予算も散っている、ですから司書を集約して、司書力を上げてもらう、でもレファレンス能力とか、郷土資料の収集とか、市民への課題解決サービスとか、かつ、6 館の企画能力を上げ、連絡調整能力を持たすためにぜひ 1 館残して頂くようなそういう施策に向けた調査・研究をしていただければよいと思う。
- 〈議 長〉 調査・研究なされる方はどういうメンバーで構成されているのか。
- 〈事務局〉 図書館の職員で行います。みなさんにご協力いただければと考えている。
- 〈委 員〉 私は、図書館が大好きなのでこの場にいるが、図書館というのは、絶版本、郷土資料、専門書などもあって、本を恒久的に管理していくのが、公共図書館だと思っている。それを企業に任せるというのは、3 年から 5 年でチェンジしていく、恒久的に管理されて

いくのかとても不安です。みなさんご存じのとおり、資料をあまり借りられないという理由で企業により破棄された図書館がありました。それは本末転倒ですけれどもそのようなありえないことがあった。それは司書のいる図書館ではありえない。6館で司書が8人は少ない、もっと募集して司書の方が中心となって、住みよい印西市を図書館から発信していく意義がある。それを企業に任せるとするのはどうなのかと思っている。

図書館は、住民の居場所でもあり、おじいちゃん、おばあちゃん、子どもたちもたくさん来館している。コロナで多少減ったかもしれないが、図書館のある意味、それを企業に投げ打つのはもったいない。なぜかというとな何十年も図書の資料を管理する仕方を知っている。それを投げるのはもったいないというのが個人的な意見である。心豊かにする図書館を企業に任せていいのか。一緒にやるために公募で入ったのに、入ったとたん指定管理かと私は印西市のために頑張ろうとここにいるので、ぜひこのまま公共図書館としてあるべきだと私は思っている。

〈委員〉

私は、親子で木刈親子読書会に属しています。指定管理者制度について発言させていただきます。図書館は、私たちの活動の拠点であり、団体貸出しとか他館との連携とかすごくお世話になっていて、私たちの方も小倉台図書館のイベントのお手伝いをしたり、協力関係で行ってきた歴史がある。この良い関係が、指定管理者制度が導入されることによって、変わっていくのかと心配している。3月にアクションプランを見て導入を進めると載っていたので、どういうこと何だろうと本当にタイミング良く図書館協議会の委員をやることになって、指定管理者制度に興味があり、6月議会も傍聴させて頂いた。浅沼議員が、指定管理者制度の導入について質問をしたときに、引き続き調査・研究を行い、図書館協議会の意見も伺いながら進めていきたいと土屋教育部長がお答えになった。なので、今回の図書館協議会の議題に指定管理者制度のことが載っていないのでびっくりした。その他にも令和4年度印西市立図書館運営方針（案）を見て、それにも指定管理者制度導入の検討と載っていたので、進んでしまうのかと思っている。図書館協議会の意見を伺いながらとあるので、この場を利用して、市民の声を救い上げて、すごく大事なことなので慎重に進めていきたい。

- (事務局) 貴重なご意見ありがとうございます。大変大事なことなので、市といたしましても資料や情報を収集して、慎重に進めていきたいと考えている。皆様のご協力を得られたらと考えているのでよろしくをお願いしたい。
- 〈委員〉 この前の議会の時でも現在、調査・研究中とお答えになったのと過去の図書館協議会の議事録を振り返りましても現在、調査・研究中とお答えがあった。
現時点でのどのくらい検討しているのか。中身をもし伺えるなら教えていただきたい。そして検討が、いつまで続くのかということも知りたい。
- 〈事務局〉 指定管理者制度については、平成15年ぐらいから話が出ている。図書館、博物館、コミュニティセンターとか段階的に指定管理者制度を導入しており、最近ですと指定管理を導入し成功した事例もあれば指定管理者制度を導入したが、直営に戻した事例もありますし、すべてがうまくいっている訳ではありません。先行している市は、図書館を中心に街づくりをするとかデジタルサービスをするとかちょっと違ったところがあったのかもしれない。そういった事例を現在、収集しているところです。ご質問でいつまでとありましたが、なかなか進んでいない状況で、できれば早くみなさんとお話ができたらと考えている。
- 〈委員〉 重複する部分があるが、今、8名の司書さんがいるが、印西市で雇われ育った方たちですから、その司書さんが、大森図書館や小倉台図書館から押しやられるというのは、とてももったいないと私は思っている。図書館流通センターで調べてみたが、八千代市の図書館は、駐車場を有料にした。企業は、お金を儲けるのがうまいと思う。図書館というのは、地道な努力の果てですので、少々派手なことしなくても良いと思う。コロナで人が少なくなっても仕方がない、知の宝庫なので市が守っていくべきだと思っている。
- 〈委員〉 指定管理に反対という意見は絶対あると思う。文化会館とか導入は進んでいるが、図書館への導入は、知の宝庫だしなかなか進んでいない状況だと思っている、6館あって司書が8名というのは、

事業も厳しく予算も厳しい状況で、ある程度、指定管理も良くやっているのですが、私は入れていかざるをえないと思っている。入れていくにも何回か協議会でお伺いしたけれども何のために指定管理を導入するのか聞いたときに、明確な答えが返ってこなかった。ぜひ、図書館サービスの向上のために入れていただきたい。民間の活力とかノウハウを導入して、船橋市は、活気のある事業が行われている。館内も活気が戻ってきているし、大変良いサービスを行っている。予算の削減ばかり言わずに図書館サービスの向上をまず一番頭において、導入を目指していただきたい。

見え隠れするのは、公務員を減らし民間を導入するのが、予算の削減になっていくと思うが、資料費とか色々なサービスに関わる部分の予算を削減しようというのは考えてもらいたくない。とにかく図書館サービスの向上のために、民間のノウハウを導入することを念頭に入れていただきたいと思っている。

よろしくをお願いしたい。

〈委 員〉

研修は大切だと思う。民間のノウハウを知りたいならば、研修に行けばよいと思う。見に行って、真似をすればよいと思う。今のところ同じことを繰り返し、案のところで煮詰まっていると感じているならば、研修に行くべきだと思う。

真似しても印西市の図書館は、後ろ指を指されることもありません、私たちのやり方ですから、煮詰まっているのなら外に出るのが一番よいと思う。

私たち自身も勉強するべきです。図書館協議会として、勉強しなくてはいけないと思う。

〈議 長〉

今回の意見で出たものを汲んでいただいて、より良いサービスのために検討していただければと思います。

議事の方はその他で終わらせていただいてよろしいでしょうか。

議長の任を解かせていただきたいと思います。

〈事務局〉

委員長ありがとうございました。また、委員の皆様、貴重なご意見等、ありがとうございました。

次に第9報告、事務局より諸報告がございますので、引き続き委員長に進行をお願いしたいと思います。

- (議 長) (9) 報告事項①「第4期印西市立図書館サービス評価指標」について、事務局より説明をお願いします。
- 〈事務局〉 (図書館評価指標【資料3】に基づき説明)
- 〈議 長〉 事務局から説明がございましたが、この内容に関しまして質疑等がございましたらお願いします。
- 〈委 員〉 図書館資料受入れ点数のところで、各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努めるとある。図書館法の中にも地域の特性を生かした資料の収集を行うとあるが、印西市の6館の地域の特性が見えてこないの、何か示した方がよいと思う。例えば年報上にそうふけ図書館は、こういう利用状況があるからこういう資料の購入を行ったとか、地域の特性を少し教えていただけるとよいと思う。今、協議会が各館で行われているので、少しは状況がわかってきたけれども、利用状況、地域の特性を教えていただける機会があるとよいと思う。
- あとサービス評価指標ですけれど、改善を目的としたという目標があるが、果たして改善になっているのか疑問である。コロナの影響もあるが達成できなかった項目が非常に多い、せっかくこれだけの目標値を立てて、成果とか実績を作っているのであるならば改善に繋がれるとよいと思う。やはりそれは、職員を増やしたり、予算を増やしたりしないとなかなか厳しいと思っている。
- 〈事務局〉 地域の特性や利用状況については、何らかの形でお示しできればと考えている。
- 〈委 員〉 令和3年度の実績ですけど、知りたいのはなぜ達成できなかったのか、そこまで追求しないと、ただ達成できた、できないだけだともったいないと思う。ここから何かを掘り下げて、考えていることがあればよりよいのかと思う。
- 〈事務局〉 繰り返しになるが評価指標は、令和3年度から7年度の5か年の計画であり、最終的な実績につきましては、令和7年度にお示しできればと思う。今回はあくまでも途中経過として数字をご報告させていただいた。

ご指摘のありましたなぜ達成できなかったのか、どうしたら達成できるのか、分析を行い、今後、お示しできればと考えている。

〈委 員〉

3 ページの上段にあります(2) 調査研究支援ツールの充実の実績・成果の②でパスファインダーの作成件数 0 件、目標は達成できなかったとあるが、パスファインダーは、子どもたちがやってきて、犬の本と言ってきたときに、これだけ犬の本がありますよと言うのがパスファインダーだと思う。図書館における引き出しだと思う。いろんな引き出しがないとレファレンスに対し会話はできないと私は思っている。パスファインダーは山ほど作るべきだと思う。0 件というのはいりえない。しっかりやっていただきたいと思う。あと 5 ページの (2) 図書館ボランティアとの連携のところで、3 事業で 20 %、たぶんコロナの影響でこの数値になっていると思うが、事業で図書館ボランティアと連携が必要な場合は、積極的に図書館ボランティアの方に連絡を取って、たくさん事業を展開していただきたい。

〈委 員〉

利用者アンケートで、前回の会議で、館内アンケートだけで図書館サービス計画を作るのは反対したと思うが、無作為抽出アンケートも行うということなので非常に安心した。

館内アンケートの回収率が非常に悪い、小林図書館の回答率が 18 %はいりえない。図書館の利用者は、図書館行政に協力的で、手渡ししてお願いをすれば回答してくれる。このサンプル数は、ちょっとひどいもっと努力していただきたい。無作為抽出アンケートは、お金もすごくかかるし、手間暇もかかると思うがよろしくお願いしたい。

図書館サービス計画は、どなたが作成するのか。

〈事務局〉

今年度は、図書館の方針をまとめたいと考えている。また、無作為抽出のアンケートの項目の準備も考えている。

私と副館長が中心となって進めていきたい。

〈委 員〉

指定管理は、まず図書館サービス計画を作ってから、その後に指定管理と考えてよいのか。

図書館サービス計画は、非常に大事でそれが無いのに指定管理を行うのはあり得ないと思う。図書館の方針で令和 5 年度にサービ

ス計画を作成するから、その前に指定管理はないと考えてよろしいか。

〈事務局〉 図書館サービス計画については、直営であろうが、指定管理であろうが、市がサービスを行うために必要な計画ですので、指定管理ありきのサービス計画ではございません。

〈委 員〉 もちろん当然ですけれども、ぜひ良い図書館サービス計画を作っていただきたい。

〈委 員〉 サービス評価指標の５ページ、研修への参加のところで、目標が年２０回のところ１２回の参加となっている。今は、オンラインでいくらかでも研修があり、２時間もパソコンの前にいれば研修ができる。研修は、図書館においてとても重要ですので、たくさん参加してほしい。

・
〈議 長〉 ぜひ、参考にしていただければと思います。それでは、報告に関する質疑を閉じたいと思います。
以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。委員の皆様、活発なご意見ありがとうございました。
これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。
ありがとうございました。

【閉会】

〈事務局〉 本日の予定は、すべて終了いたしました。
これをもちまして、令和４年度第１回印西市立図書館協議会を終了させていただきます。

令和４年度第１回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

令和４年８月３０日

印西市立図書館協議会

委員 磯 昌 稔